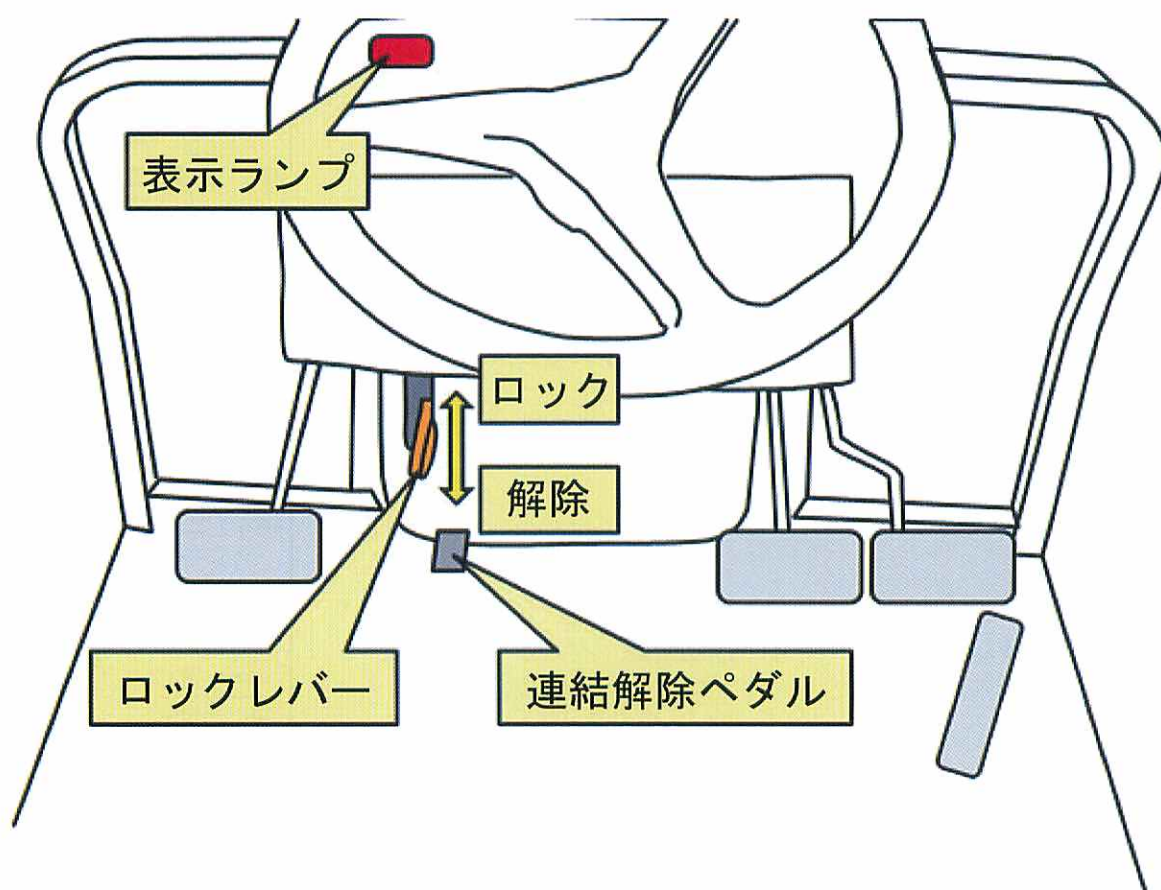


トラクターの安全が進化します

乗用型トラクターの片ブレーキ防止装置



〈特徴〉

- 転落・転倒事故の一因、片ブレーキの誤操作を防止
- 片ブレーキが必要なときだけ、その都度、簡単操作
- 面倒な連結金具の掛け外しは不要

乗用型トラクターの片ブレーキ防止装置は、第4次農業機械等緊急開発事業により、
(独)農研機構・生研センターと国内トラクター製造企業各社が開発し、新農機(株)の
実用化促進事業を経て商品化されました。

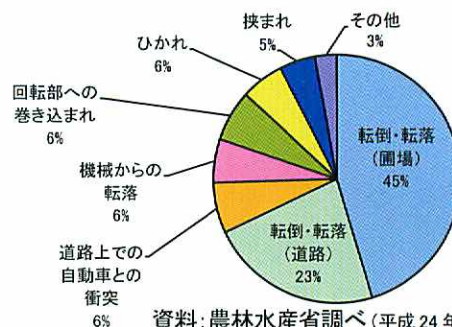
新農業機械実用化促進株式会社

1. 背景と目的

農作業死亡事故件数は毎年 400 人前後で推移していますが、そのうち最多の約 1/3 を占めるのが乗用型トラクターによるもので、その 3/4 は転落・転倒です（図 1）。

転落・転倒の原因は様々ですが、ブレーキペダルの連結金具を外した状態で急ブレーキをかけようと誤って片ブレーキを踏むと、急旋回して道路やほ場から転落・転倒する場合があります。乗用型トラクターの片ブレーキ防止装置は、これらの事故を未然に防ぐために開発されました。

2014 年度以降、対応可能な新機種から標準装備されます。



資料：農林水産省調べ（平成 24 年データ）

図 1 乗用トラクタの死亡事故分類

2. 構造と操作

1) 本装置は、「連結解除ペダル」と「ロックレバー」から構成されます（前ページ図）。ほ場に入ったら、ロックレバーを「解除」にします。表示ランプが赤く点灯します。この状態では、まだ左右のブレーキは連結されています（図 2）。

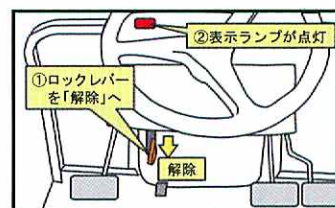


図 2 片ブレーキ操作の準備

2) 片ブレーキ操作を行うときは、左足で連結解除ペダルを踏んでから右足で片ブレーキ操作します（図 3）。連結解除ペダルを踏んでいる間だけ左右ブレーキペダルの連結が外れます。

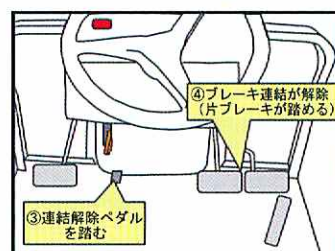


図 3 片ブレーキの操作

3) 連結解除ペダルおよびブレーキペダルを元の位置に戻すと左右のブレーキが自動で連結されます（図 4）。連結解除ペダルから足を離しても、片ブレーキを踏んだままだと、片ブレーキ状態は続きます。

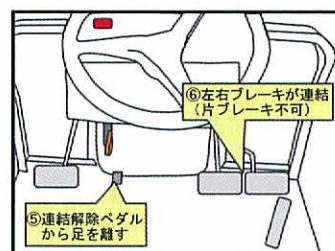


図 4 片ブレーキ操作の終了

4) 作業終了後、ほ場から出る前にロックレバーを「ロック」にします（図 5）。表示ランプが消灯します。移動時や片ブレーキ操作が要らない作業中は、常に「ロック」に入れておいて下さい。

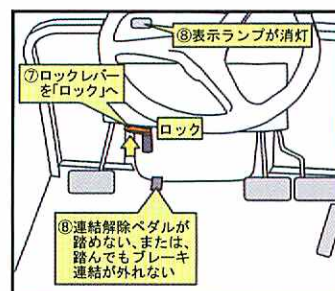


図 5 ほ場作業終了後の操作

【装置の問い合わせ先】

井関農機株式会社 http://www.iseki.co.jp/	株式会社クボタ http://www.kubota.co.jp/	三菱農機株式会社 http://www.mam.co.jp/	ヤンマー株式会社 http://www.yanmar.co.jp/
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 特別研究チーム(安全) 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町1丁目40番地2 Tel:048-654-7050 Fax:048-654-7131 http://www.naro.affrc.go.jp/brain/iam/index.html		新農業機械実用化促進株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目18番6号 第一谷ビル5F Tel:03-6206-0681 Fax:03-6206-0682 http://www.shinnouki.co.jp/	

※ 本装置は、2014 年度以降、参加各社にて対応可能な新機種から標準装備される予定です。